

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 清泉幼稚園
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒 051-0035
 北海道室蘭市絵鞆町1-3-15
E-mail : seisen@lilac.plala.or.jp
Website : http://www16.plala.or.jp/seisens/
児童生徒数：男子 54 名 女子 65 名 合計 119 名
 児童・生徒の年齢 3歳～6歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

① 【知って・学んで・体験して】～世界の仲間のこと～

世界のはじめから続けている、各国の挨拶・習慣について月ごとに学ぶことは、今年も継続しました。

月	国	朝の挨拶	帰りの挨拶	お礼のことば	有名なもの(例)
5月	日本	おはよう	さようなら	ありがとう	スカイツリー・富士山
6月	韓国	アンニョンハセヨ	アンニョヒカシブシオ	カムサハムニダ	キムチ
7月	インド	ナマステ	ナマステ	ダニヤヴァード	カレー
8月	イギリス	グッドモーニング	グッドバイ	サンキュー	バッキンガム宮殿
9月	フランス	ボンジュール	オウルヴォワール	メルスィーポクー	エッフェル塔
10月	アメリカ	ハイゼアー	スィーユーレイター	サンクスアロット	自由の女神
11月	ギリシャ	カリメーラ	ヘレテ	エフハリスト	神殿・神話
12月	スウェーデン	グ・モロン	アジュー	タック	オーロラ
1月	チリ	ブエノスディ阿斯	アスタルエゴ	グラシ阿斯	モアイ像・ワイン
2月	中国	ザオシャンハオ	ツアイツエン	シェシエ	北京ダック・雑技暖
3月	アフリカ	ジャンボ	クワヘリ	アサンテサーナ	野生動物

これに沿って、各学年で、挨拶やその月の国のことを学んだりすることで、興味をもつきっかけづくりになりました。

② 【集めています】

また、同時に、不要眼鏡・リングプル・書き損じはがき・エコキャップ・使用済み切手等を集め、それぞれの用途によって、各施設等に届けました。

収集は、子どもたちが持ってきたものを、自分で収集箱(ペットマン)に入れ、とても喜んで行っています。



③ 【どんぐり井】

NPO法人 Make The Heaven の、東北宮城県に『緑の防波堤』を作ろうという活動に賛同し、昨年3月より、『どんぐり』を育て始めました。

これは職員にとっても初めての取り組みで、宮城で拾ったどんぐりを送ってもらい、それをポットに植え、その後の成長を見守っています。

④ 【ころたん】

日本家庭園芸普及協会の『緑のカーテン』づくりに応募し、春、そのキッドが届きました。こちらをはじめのことで、試行錯誤を繰り返しながら実をつけました。食育にも繋がり、とても良い体験ができました。

以下は、冬のユネスコフォーラムにて発表した内容です。

当、清泉幼稚園は、長年にわたり『心』を育てる教育を心がけてきました。ユネスコスクールに登録されてからは、尚一層、子どもたちが参加できる活動を模索し、さまざまな取り組みに挑戦してまいりました。

特に今年は、植物を通して、地球を考えることが多くありましたので、簡単にご報告させていただきます。

～前段省略～

先ずひとつめは『ころたん』。

春に、幼稚園に届いた一枚のチラシ、それは、『にっぽん緑のカーテン大作戦』。朝顔やゴーヤ等の植物を建物の外側で生育することで、天然のクーラーを作るというエネルギー手法への取り組みへのお誘いでした。

これは、日本家庭園芸普及協会で、募集し、無償で提供してくださっています。

「ユネスコ活動の一環として、取り組んだら面白い。」ということで、早速、応募したところ、みごと当選し、北海道では初めての緑のカーテン大作戦がスタートすることとなりました。

『幼稚園』ということ配慮して、届いたのは『ころたん』というミニメロン。

収穫して食べられるという魅力的な苗が、12本届きました。

職員全員が初体験のため、アドバイザーの方からいろいろと教えていただいたり、調べたりしながら試行錯誤ですすめることになり、私たちもとても勉強になりました。

6月上旬。

年長組が、届いた12本を、肥料を混ぜて数日置いた土に植えました。1本は既に折れていたもので、翌日には枯れてしまいましたが、全員で水をあげ、見守っていたところ、6月後半には蕾が付き始め、ツルもどんどん伸びていきました。

7月。

夏休み中に、おしべとめしべを受粉させ、小さなりんごのような丸々とした赤ちゃんができてはじめました。北海道は本州ほどは暖かにならないので、ツルもそんなに伸びませんでした。それでも8月に入ると、少しずつ大きくなったころたんが重そうにツルにぶら下がるようになりました。

子どもたちも「いつ食べれるのか？」と興味深々でお世話を続けます。

8月後半。

一度、食べてみましたが、硬くて不味い！ネット状の模様がつく頃が食べごろということ、9月半ば、みんなで美味しく頂きました。





また、今も継続して取り組んでいるのが『どんぐり井』です。

忘れもしない2011年3月。

東北東日本大震災の瓦礫を活かして、東北に木を植え「森の防潮堤」をつくろうという取り組みに賛同して、宮城で採ったどんぐりを、幼稚園で育てています。

今回の津波で、コンクリートの防潮堤の多くは流されてしまいました。

「未来の子供たちにコンクリートではなく、森の防潮堤を届けたい」

「震災ゴミを活かして、楽しみながら森を作って行きたい！」

そんな思いで始まったこのプロジェクトは、小さな子どもたちも積極的に参加できます。

この復興支援の活動を通して、津波の被害を肌で感じたり、後の感受性の育成へとつながればと、願っています。

種から苗木に育つまでに2年以上必要です。

今年の2月に届いたどんぐり井を、在園の子どもたちが植えました。その後、卒園してしまっただ子どもたちもいましたが、後輩たちが見守って育てています。

なかなか芽を出さず、「だめかも・・・」と諦めかけた5月。やっと小さな緑の芽が顔を出しました。その後、40個のどんぐりのうちやく半分のどんぐりから緑の芽がはじまり、すくすくと成長して7月には緑の葉を広げ始めました。どんぐりを植えただけの卒園児も、夏に行われた卒園生の集いで、その後の成長を確認することもでき、感動しておりました。夏が終わった頃、どんぐりたちは風邪をひきはじめ、葉が枯れ始めました。

そこで、専門家に話を聞いて、土と入れ物を変え、あたたかい葉っぱのお布団をかけてあげました。

葉を細かく切りお布団を作り、今は、新しい葉が生えてくるのをドキドキしながら見守っています。

震災は遠い過去の記憶となりつつありますが、現地に住んでいる方々は、まだまだ辛い現実と向きあっています。

そして、法律が変わり、成長したこのどんぐりの木に込められた数年にわたる子どもたちの愛を、宮城の届けに行けるその日まで、みんなで力を合わせて育てていきたいと思っています。



⑤ 【ドナルドアピランス】

マクドナルドで、行っている『ハロドナルド』を利用し、『食育』と『エネルギーと環境教育』について学びました。

子どもたちも保護者もとても楽しく、

学んだり確認することができたように思います。



⑥ 【異文化体験】

認定前から継続して行っている異文化体験（日本の文化舎）も、とても楽しく、園児にとってはいろいろなことを体験しながら学んでいく良い機会です。この体験を通して、施設に訪問行く等、地域交流も積極的に行うことができるのも素晴らしいことだと思っています。これからも続けながら、より深く学んでいければ、と、思います。



⑦ 【その他】

他にも、10年以上継続して、市で開催する歳末助け合い演芸大会に今年度も参加したり、フィリピンの台風被害地へ、支援物資・募金を集めて送り、その後、教員が1名、冬休み中に現地に入り、支援活動に参加した。

毎年、市内のユネスコ・スクールが集まり、『ユネスコフォーラム』を開催しているが、今年も11月9日に行われ、会場が一体となってユネスコ活動について楽しく学び発表をした。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）